

USPTO、バイデン新政権での暫定体制を公表

2021年1月21日
JETRO NY 知的財産部
石原

1月20日にバイデン氏が大統領に就任したことに伴って、USPTOではイアンク長官が退任し、ハーシュフェルド特許局長(Drew Hirshfeld, Commissioner for Patents)が長官の業務を代行(Performing the functions and duties of Director)することになった¹。

ハーシュフェルド氏は、1994年に特許審査官としてUSPTOでのキャリアをスタートし、コンピュータソフトウェア及びデータベース分野の管理職を経て、特許・商標にまたがる施策の全体調整を司るChief of Staffを二年間経験した。その後、2011年11月に特許副局長に就任し、2015年7月に特許局長に就任していた²。

ハーシュフェルド氏が行っていた特許局長の業務は、フェイル特許副局長(Andrew I. Faile, Deputy Commissioner for Patents)が代行することになった。

また、ピーター副長官(Laura Peter, Deputy Director of USPTO)も退任し、シニアカウンセルのステュワート氏(Coke Morgan Stewart, Senior Counsel)が副長官の業務を代行することになった。

ステュワート氏は、2011年にAssociate Solicitor(弁護士)としてUSPTOでのキャリアをスタートし、2020年6月にシニアカウンセルに就任していた。

これらの業務代行は、次期USPTO長官がバイデン大統領によって指名され、上院で承認されて新体制が発足するまでの暫定的なものである。次期USPTO長官の候補や指名のタイミングは明らかになっていない。

バイデン政権の閣僚・政府高官人事のスケジュールは、1月6日に発生した連邦議会議事堂への乱入事件の影響もあり、予定より遅れている。1月7日にバイデン大統領が次期商務長官に指名したレモンド氏(Gina Raimondo)についても、上院の承認が済んでいない。次期商務長官等の手続が済んだ後に、タイミングは明らかではないが、次期USPTO長官等の手続が行われると考えられる。

(以上)

¹ <https://www.uspto.gov/about-us/executive-biographies>

² https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnnews/us/2015/20150730.pdf